

平成25年度 国語科シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科(コース)	備考
国語表現 I	2	3	全	選択	普通科(普通コース)	

1. 科目の概要及び目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る能力を育てる。

2. 授業の目標及び授業展開

(1) 授業の目標

①中学校での学習をもとに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れる。その上で「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成する。また、伝え合う力を高めるための表現する側と表現される側と双方からの立場での実際的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。

②伝え合う力を高めるための実際的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

(2) 授業展開

国語表現 I を選択した生徒のみ。

3. 学習方法

- (1) 書き取り・聞き取りをメモにまとめる・要約など、最も基本的な言語能力の確認。発音・発声からスピーチ、プレゼンテーション、その場に応じた会話・発言や発表など、実際的な「話すこと・聞くこと」に関する言語表現の訓練と学習。
- (2) コラム、手紙など、実際的な「書くこと」に関連する言語表現の訓練と学習。
- (3) ことば遊びや川柳・広告コピーなど、身近な題材から広がる言語表現を、より深める訓練と学習。
- (4) 日本語の基礎となるさまざまな事項(漢字・敬語・構文など)と約束ごと、表現をよりよいものにするための工夫、自分の個性をふまえた表現のあり方など、言語表現の方法・能力・知識に関する学習。

4. 使用教科書・副教材

- (1) 使用教科書 「国語表現 I 改訂版」(教育出版)
- (2) 副教材 「サクセス小論文ノート STEP 2」(桐原書店)
「小論文実践テストプレ 2テーマ型課題文型」(桐原書店)

5. 成績評価

主にその時間の課題の提出状況、作品の内容点で評価する。学期に1回は、確認テストを実施することもある。学習態度や意欲についても加味する。

6. その他